

事業番号	05 05 01	事業改善シート(26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	自然公園施設整備事業費				担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト 6-4-2 誇りある暮らし実現プロジェクト			課・室	自然保護課		
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全			E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
		2 自然環境の保全			実施期間	S33 ~		

1 事業の概要

目指す姿	自然公園等の自然環境や優れた風致景観を維持し後世に伝えるとともに、多くの県民が自然と触れ合える施設の整備を進める。						
現状(予算編成時)	<input type="checkbox"/> 自然公園等における県有施設の老朽化に伴う改修及び維持管理 <input type="checkbox"/> 国立、国定公園内の市町村が管理する自然公園施設の改修等への支援 <input type="checkbox"/> 山小屋事業者等が行う管理者が不明確な登山道等の維持管理への支援 <input type="checkbox"/> 自然公園内におけるし尿処理の改善、ニホンジカによる高山植物の食害防止への支援						
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)		【左記の説明、根拠法令等】 自然公園法、地域自主戦略交付金交付要綱、自然環境整備支援事業補助金交付要綱・取扱要領、民間との協働による山岳環境保全事業交付要綱・実施要領				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)						
	自然公園内の施設等整備の箇所数 26箇所 【内訳】 自然公園施設等整備事業による県有施設の改修 7箇所 L=125m ² ほか 自然環境整備支援事業による市町村有施設の改修 6箇所 L=2,637m ² ほか 民間との協働による山岳環境保全事業による山小屋事業者等への支援 13箇所(累計:54箇所)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		自然公園施設等整備事業	直接	・中信高原線歩道の改修、鈴蘭車道の舗装改修ほか	6,959	5,824	9,757
	自然環境整備支援事業	補助	・国定公園内の市町村が管理する自然公園施設の改修、及び長距離自然歩道施設の改修への補助	63,000	50,472	67,573	
	民間との協働による山岳環境保全事業	直接補助	・自然公園内で市町村が管理する自然公園施設の改修等への補助 ・山小屋事業者が行う管理者不明確な登山道の維持管理への補助 ・山岳環境連絡会で山岳環境の保全と適正利用のあり方を検討	8,400	6,372	8,400	
	山岳環境整備パイロット事業	補助	・山域ごとの部会において一定の合意が図られ、検討内容に沿った試行が可能な山域において実証を行い、その結果を連絡会の議論に反映させて方針を策定	-	-	31,682	
	合計			78,359	62,668	117,412	
事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度		
	前年度繰越	11,141					
	当初予算	82,579	84,520	78,359	117,412		
	補正予算	-7,225	-12,750	-11,893			
	合計(A)	86,495	71,770	66,466	117,412		
	一般財源	3,117	6,313	6,352	28,157		
	県債						
	国庫支出金	75,378	46,313	51,714	77,855		
	その他	8,000	19,144	8,400	11,400		
	決算額(B)	85,935	71,315	62,668			
概算人員数(人)	3.50	3.50	3.50	3.50			
概算人件費(C)	28,903	28,903	28,903	28,903			
概算事業費(B(A)+C)	114,838	100,218	91,571	146,315			
成果目標の達成状況	項目	H25末(実績)	H26 目標	H26 成果	H26 達成状況	H27 目標	
施設等整備箇所数	21箇所	26箇所	19箇所	未達成	35箇所		
山岳環境の保全と適正利用のあり方の合意地域	-	-	-	-	5箇所		
目標に対する成果の状況	必要とする施設改修等を実施しながら、関係市町村や山小屋関係者への支援を行い、自然環境の保全を図ることができたが、御嶽山噴火災害等に伴い市町村等が予定していた整備が実施できなかったことから目標に達しなかった。						
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施						
今後、事業をどのようにしていきたいか	引き続き必要な施設の改修等に取り組む。また、山岳環境連絡会の検討経過を踏まえ、合意の得られた山域においてモデル的に協議に基づく整備と協働体制の構築を進め、基本方針を策定していく。						